

分科会1 発表資料

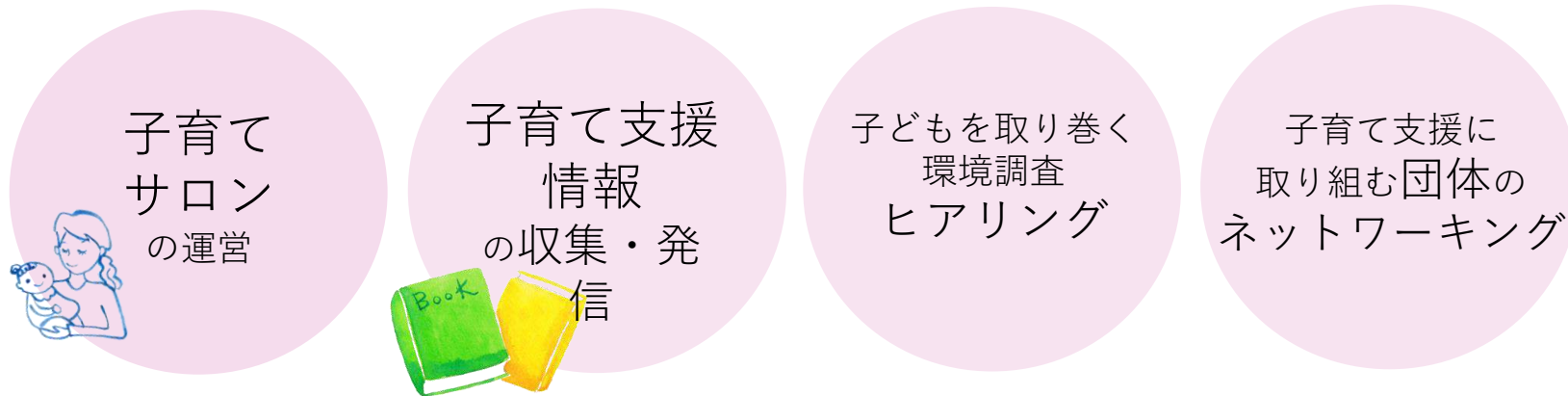
いわき・双葉の子育て応援コミュニティ cotohana

共同代表 小林奈保子



いわき・双葉の子育て応援コミュニティ c o t o h a n a

- 2016年～ いわき市を中心に子育て支援の取り組みをスタート
- 2018年～ 双葉郡から近隣町村に避難しながら子育てする女性の居場所作り・ヒアリング
- 2019年～ 双葉郡内での取り組みをスタート
メンバー：双葉郡、またその近隣地域で子育て中のお母さん



コトハナのビジョン

VISION：目指す地域像

「『ここで子育てしてよかった』と、
楽しく子育てする家族が溢れる地域に」

MISSION：果たすべき使命

- (1) 子育てしやすさ、暮らしやすさを阻害する地域課題を解決する、乗り越える力を育む
- (2) 親子の笑顔を生み出す、新しいコト・モノ・場所・出会いをつくり、繋いでいく

子ども・子育て応援を通じた地域づくり

コトハナの取り組み

(1) 子育てしやすさ、暮らしやすさを阻害する地域課題を解決する、乗り越える力を育む

- ・子育て支援拡充を目的としたヒアリング、ネットワークング、政策提言
- ・子育てする親、子ども、地域住民のエンパワーメント

(2) 親子の笑顔を生み出す、新しいコト・モノ・場所・出会いをつくり、繋いでいく

- ・サロンや遊び場等の企画
- ・地域の子育て支援情報等を届け、親子と地域資源とを繋ぐ



コトハナの取り組み (2021年現在)



ママカフェ@双葉郡



冒険ひろば@双葉郡



とみおかこども食堂



情報誌発行



WEBメディア



ヒアリング



七五三お祝い企画

双葉郡の避難指示解除区域変遷と活動の変化

避難指示解除の主な動き（抜粋）

コトハナの発足から現在

2011年から数年にわたり避難が継続

2014年～ 田村市・双葉郡内にて避難指示区域の段階的な解除が進む

2017年～ 浪江町、富岡町が帰還困難区域を除き解除

2019年～ 大熊町が帰還困難区域を除き解除

2020年～ 双葉町が帰還困難区域を除き解除

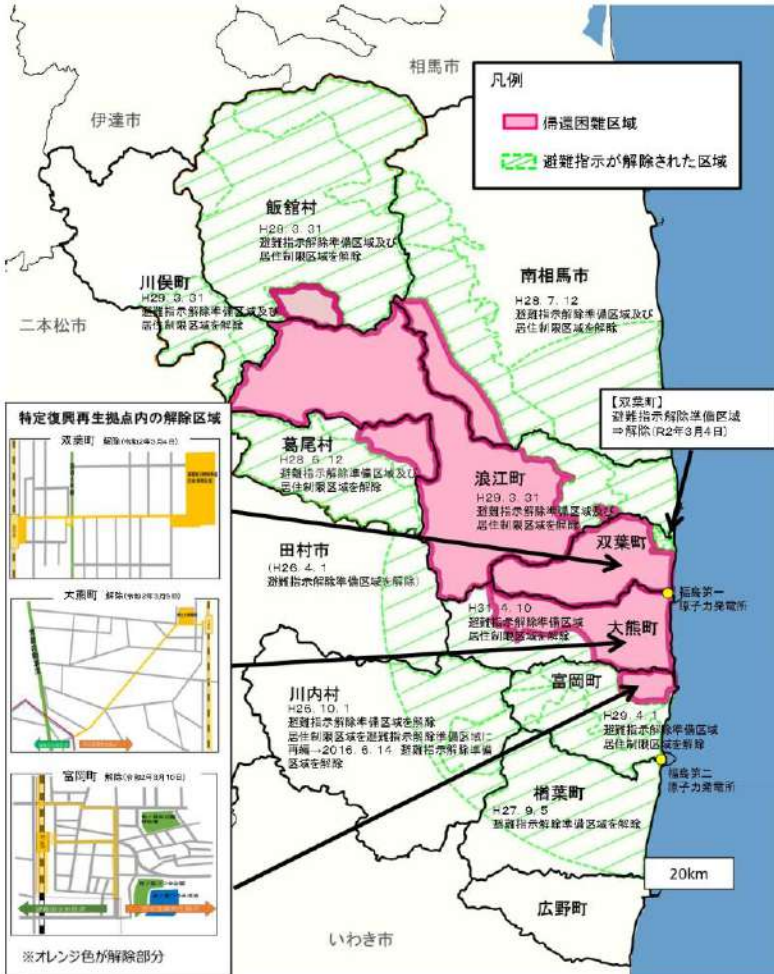
2022年～ 特定復興再生拠点区域復興再生計画により、帰還困難区域の一部の避難指示解除を進める

2018年～ 双葉郡から近隣町村に避難しながら子育てする女性の居場所作り・ヒアリング
(2019年2月団体発足)

2019年～ 双葉郡内での取り組みをスタート

※解除後数年しかたっておらず、
やっと地域に根付いた活動ができる
ようになってきた段階

避難指示区域の概念図
令和2年3月10日時点 双葉町・大熊町・富岡町の避難指示区域の解除後



活動領域・内容の変化

2018年～ 双葉郡から近隣町村に避難しながら子育てする女性の居場所作り・ヒアリング

■2018年6月～2019年3月 避難女性の課題事業

いわき市及び双葉郡に居住する子育て女性を対象にヒアリング・アンケートを実施
(避難中の子育て女性28名)

■2018年11月～2019年3月 ふたばのママ集まれ！子育てママサロン事業

月に2回、双葉郡から避難している子育て女性を対象にママサロン開催
(全6回、避難中の子育て女性とその子ども66名が参加)



- ・双葉郡の避難指示解除が段階的に進む中、**まだまだ避難先での居住者も多く、子育て世代の孤立も課題**

→ママサロン運営、ヒアリングなど通じ避難中の子育て女性の置かれている状況を把握

活動領域・内容の変化

2019年～ 双葉郡内での取り組みをスタート

■2019年4月～2020年3月 ふたばの子育てママサロン事業

月に1回、双葉郡内で子育てする女性を対象に子育てママサロン開催

■2019年4月～2020年3月 双葉郡の子育て支援ヒアリング事業

双葉郡の子育て環境の現状・課題を把握するため、ヒアリングを実施
(双葉郡8町村の行政機関および県の担当課)

■2020年3月 子育て支援情報誌発行

当事者の声をもとに双葉郡の子育て関連情報をまとめた情報誌を年に1回発行

■2020年4月～2020年3月 いわきの子育てネットワーク事業

いわき市内の子育て支援団体のネットワークを形成し、それを活用して、子育て女性に情報とサービスを提供
(おやこサロン全16回開催、情報誌年1回発行)



- ・ 双葉郡内の**子育てインフラの不足** (病院、学校、保育施設、遊び場等)
- ・ 既存の行政サービス (特に子育て支援関連) の回復の遅れ (健診や子育てサロン未開催など)
- ・ 郡内の子育て情報がまとまっていないため**必要な情報を取ることが困難**
- ・ **子育て世代が交流できる機会が不足**

→ママサロン運営に加え、行政 (母子保健等) へのヒアリング事業、子育て情報誌発行も加わる

活動領域・内容の変化

2020年4月～2021年3月

子どもを核とした地域・文化づくり

1. コトハナサロン

月に1回、2か所を交互に回り、双葉郡内で子育てする女性を対象に開催

2. とことんあそび場

遊び場が不足する双葉郡で大人も子どもも楽しく互いに遊びを通じて交流できる場づくり

3. とみおかこども食堂事業

富岡町の子ども達の居場所づくり+保護者ネットワークづくりの土台

4. ふたばで七五三お祝いプラン企画・運営事業

家族のライフイベント・七五三を暮らしている地域でお祝いする風景を取り戻す

双葉郡の子育て情報収集・発信

5. ふたばの子育て支援情報誌制作・発行事業

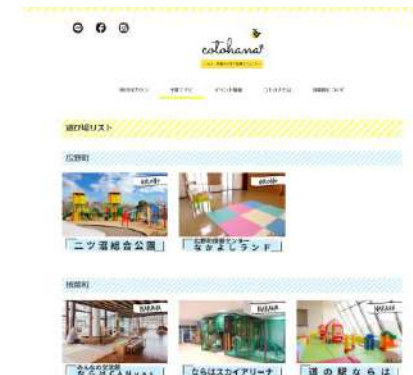
6. 2021年2月～双葉郡の子育てWEBメディア「コトハナオンライン」事業

HP:<https://cotohana.net/>

地域の子育てサロンや子育て関連施設情報、子育て世代のインタビューなどのマガジンを掲載

双葉郡内の子育て支援の拡充（地域内外との連携強化）

7. ヒアリング事業



活動領域・内容の変化

2021年4月～

2020年度の活動の一部を自主開催から他団体との協働へシフト

1. ままカフェ@双葉郡事業 (2020年度：コトハナサロン)

「ふくしま子どもの心のケアセンター」(NPO法人ビーンズふくしま運営)主催
cotohanaは現地協力団体として協働

2. 冒険ひろば@双葉郡事業 (2020年度：とことんあそび場)

「子どもが自然と遊ぶ楽校ネット」主催、「ホールアース自然学校 福島校」と協働



2020年～2021年

- ・ 特別支援の仕組みが不足している (郡外に頼る自治体もある)
- ・ 双葉郡内の環境変化のスピードが速いため、情報誌ではすぐに情報が古いものになる
- ・ 自治体ごとの施策/サービスのばらつき、子育て世代がここで暮らす背景のばらつき

→行政、関連機関へのヒアリングでテーマ (児童福祉・特別支援) 絞り、現状を把握

→WEBメディア運営を開始

→地域ごとの課題・ニーズに合わせ活動内容を変化

→他団体との協働を増やし、双葉郡内の子育て世代へさまざまな資源・機会を知るきっかけを増やす

地域の中での価値・担っている役割と 引き継ぎたいバトン

役割：双葉郡内の中でコトハナが唯一横断的に取り組む、子育てコミュニティ団体

- ・新しいまちづくりがスタートしている双葉郡内にて、子育て関連施設・情報などの情報をまとめている
- ・地縁がない子育て世代も増加し、必要な資源につなげられない方々もいる。
行政や関係機関と連携し、必要資源につなげたり、新たなコミュニティづくりを行う

引き継ぎたいバトン

- ：正直、目の前の双葉郡の課題、変化、スピード感に順応することで手一杯
- ：でも今関わっている地域の子どもたちや親たち、自分たちや自分の子どもたちが、
ここで子育てしてよかった、育って良かったと思えるように

復興、新たなまちづくり、1Fの廃炉など世界的にも類を見ない環境の中、
ここで普通に生まれ、育ち、巣立つ子どもたちがいる。
親は双葉郡だからこそその不安・悩みはあるが、普遍的な子育ての悩みだってある
ようやくスタートした双葉郡の暮らしの中で、子どもたち、親たちが笑顔で過ごせるように
子育て応援を通じた地域づくりをしていきたい